

2026（令和8）年度

# 大阪高等学校春季テニス大会

## 個人の部（一次予選・本戦）

日 程 2026（令和8）年4月2日～4月29日

会 場 マリンテニスパーク北村・蜻蛉池公園  
ミズノスポーツプラザ 舞洲・各学校テニスコート



大阪高等学校体育連盟テニス専門部

# 大会役員

## 大会会長

佐保田 真一 (伯 太)

## 大会委員長 (大会レフェリー)

直川 雅史 (三 島)

## 大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

大内 康弘 (泉 北)  
奥田 訓之 (枚方なぎさ)  
藤森 洋弥 (日 新)

奥井 保亘 (寝屋川)  
下向 真治 (澁 谷)

## 大会委員 (会場レフェリー)

石井 祐耶 (旭)  
犬伏 誠 (鶴見商業)  
浦 尊博 (東住吉総合)  
加藤 祐子 (北摂つばさ)  
呉田 未来 (桜 宮)  
笹井 伸郎 (大商学園)  
新谷 啓 (大阪産業大附属)  
高木 波也汰 (興 國)  
玉川 敬祐 (桜 和)  
戸成 慶尚 (桃山学院)  
中村 愛美 (伯 太)  
藤森 洋弥 (日 新)  
安田 一輝 (枚方樟風)

石山 未悠 (大阪女学院)  
岩田 泰一 (池 田)  
奥井 みなみ (桜 宮)  
岸上 啓幸 (関大北陽)  
坂本 光男 (大商学園)  
下岡 絵里 (淀川清流)  
鈴木 将二 (登美丘)  
田中 佳奈 (高 石)  
辻 博規 (大体大浪商)  
中井 功 (履正社)  
浜本 慎吾 (日 新)  
守谷 静香 (難波支援)  
吉藤 友香 (河 南)

## 進行係

各高等学校テニス部顧問

# 大会日程

## ■ 予選（各学校・ミズノスポーツプラザ舞洲・MTP北村）

- 4月2日（木） 男女シングルス
- 3日（金） 男女シングルス
- 4日（土） 男女ダブルス
- 5日（日） 予備日
- 6日（月） 予備日
- 7日（火） 予備日

（二次予選 4月11日（土）・12日（日） MTP北村）

## ■ 本戦

- |          |           |    |       |    |       |
|----------|-----------|----|-------|----|-------|
| 4月19日（日） | 男女シングルス   | 男子 | MTP北村 | 女子 | 蜻蛉池公園 |
| 25日（土）   | 男女ダブルス    | 男子 | MTP北村 | 女子 | 蜻蛉池公園 |
| 26日（日）   | のこり・順位決定戦 | 男子 | MTP北村 | 女子 | 蜻蛉池公園 |
| 29日（水）   | 予備日       | 男女 | MTP北村 |    |       |

※雨天の場合予備日に順延としますが会場で以後の日程の確認をすること。

※ボールは会場で配布。控えに入った選手は本部よりボールを受け取る。

本戦に出場する選手は本戦会場で配布。（予選会場ではボールを受け取らないように）

## 会場校へ

会場校は雨天などによる日程変更については、必ず解散前に高体連テニス部ホットライン（090-6551-4976）に連絡すること。

会場校は、試合日ごとに結果をメール（[houkoku@osaka-hs-tennis.com](mailto:hokoku@osaka-hs-tennis.com)）で報告してください。なお、ドローに勝者とスコアを記入した詳細報告は、メールに添付（PDFファイルがのぞましい）し送信してください。



件名	春季個人【BS・GS・BD・GD+ブロック番号】結果 ※例：春季個人BS 15・16結果
本文	BS 15. 1 田中（箕面北） BS 16. 16 山本（池田東） ※ブロック番号・ドロー番号・選手名・学校名を明記  会場 堺北高校 中村大輔 ※顧問や学校職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果（PDFファイルがのぞましい）

# 大会注意

## 1. 試合開始と進行

- 本戦は午前9時00分、予選は午前9時15分より試合を開始する。
- 試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロー番号順に進行する。
- 前の試合が終了すれば、すぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格とすることがある。
- ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

## 2. 出席の届け出

- 各会場とも試合開始時間の15分前（本戦 8時45分 予選9時00分）までに、本人が（ダブルスでは二人そろって）更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は、棄権とみなし失格とする。（公共交通機関を利用の上、延着の場合は、メール [houkoku@osaka-hs-tennis.com](mailto:hokoku@osaka-hs-tennis.com) に路線名、時間などを連絡する。またその後、高体連のXを確認し、指示を読むこと。）
- 本戦は、顧問または学校職員と一緒に出席を届け出る。
- 本戦に受け入れられたプレーヤーは、ウィズドロー（出場取り消し）またはノーショー（無断欠場）に関して、理由書を添えて、文書（FAX可）で主催者に通知しなければならない。病気または怪我の場合は、ドクターの診断書を主催者に提出しなければならない。

※次の予選会場の出席・開始時間は異なります。注意すること。

- 清滝スポーツヒルズ（太成学院高）：詳細は別紙案内を参照  
男子シングルス80, 81ブロック → J R四條畷駅8時15分発のバスに乗車  
（試合開始9時15分）  
男子シングルス82, 83ブロック → J R四條畷駅9時15分発のバスに乗車  
（試合開始10時15分）

## 3. 試合について

- 服装は、J T A テニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴなど）は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。
- 靴は必ずテニスシューズのこと。
- 近年、対戦相手を間違えたまま試合をするというケースが起こっている。必ず相手を確認した上で試合を始めること。
- コート内でのウォームアップはサービス4本とする（会場レフェリーの指示に従うこと）。
- サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。

ノーレット方式とは、サービスのレットを採用せず、サービスがネット、ストラップ、またはバンドに触れたとしてもインプレーとする方式です。  
① 選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。  
② 選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。  
③ 双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせず有効となります。

- 全試合、セルフジャッジとする。コートの中の自分のサイドの判定は、プレイヤーが正しく行うこと。

- 不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバールールする。
- プレーは連続的に行われなければならない。MTOは筋ケイレンでは認められない。
- 試合中、なにか困ったことが起こった場合は、ロービングアンパイア（会場責任者）にすぐに相談すること。
- 試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること（5分以内に）。
- 時間の管理は、アンパイアおよび会場レフェリーが行う。
- 一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない。
- 試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない。
- 今大会より、ラケットにステンシルマークをつけることが認められる。

#### 4. 持ち物とゴミについて

- 持ち物は各自が責任を持って管理すること。大会会場の美化には最大限協力しなければならない。
- ゴミは必ず各自で持ち帰ること。

#### 5. その他

- 試合開始後、試合に出場している学校や個人が会場のコートを借りて練習することは禁止する。
- 試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレーヤーにふさわしい行動をとること。
- 試合についての質問は、顧問及び選手のみに限り、保護者や観客はできない。
- JTAテニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
  1. 大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
  2. 了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。